

日工販ニュース Vol.4 — 2015



| | | |
|---|---------------------------|----|
| 年 頭 所 感 | 日本工作機械販売協会 会長 上田 良樹 | 2 |
| | 経済産業省製造産業局 産業機械課長 佐脇紀代志 | 4 |
| | 一般社団法人日本工作機械工業会 会長 花木 義麿 | 6 |
| JIMTOF2014報告 | | 8 |
| 話 題 の 技 術 「JIMTOF 2014における最新の加工技術」 | (株)牧野フライス製作所 根本 政典 | 9 |
| リレー随筆 | キャムタス(株) 稲垣 雅信 | 12 |
| 私の読書評 「探偵ガリレオ」 | (株)カナデン 伊野 裕介 | 13 |
| 工作機械と私 | (株)山 善 岩瀬 英治 | 14 |
| 甘 口 辛 口 「コミュニケーション不足」..... | (株)井 高 石川 博 | 15 |
| 議 事 録 「理事会」「西部」「中部」「東部」講演会・忘年懇親会」 | | 16 |
| | 「西部研修会」「東部委員会」「東部」「西部」ゴルフ | |
| 統 計 資 料 「工作機械業種別受注額」「FA 流通動態調査1」 | | 29 |
| | 「マシニングセンタ・NC 旋盤動向」 | |
| ひとくち豆知識 「放電加工液について」 | | 32 |
| S E 教 育 「平成26年度 SE 講座・更新研修実施報告」 | | 34 |
| | 「SE 合格者・更新検定認定者」 | |
| 私 の 軌 跡 | (株)不 二 寺尾 敬 | 38 |
| 消 息 ・ 行 事 | | 40 |
| 会 員 会 社 | | 41 |

年 頭 所 感



日本工作機械販売協会 会長

上 田 良 樹

皆様 新年明けましておめでとうございます。

健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会に対し一方ならぬご厚情と暖かいご支援を賜りありがとうございました。あらためて御礼申し上げますと共に本年も引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

さて、昨年末は衆院解散・総選挙が行われ、例年にも増して慌ただしい年末年始でしたが、選挙結果を見ますと、争点であった「アベノミクス効果」に対し国民は一応合格点を付けたのではないかと思います。あらためて昨年の工作機械受注を振り返りますと、年初より月間受注額が1000億円を超え、また3月からは1200億円を超える状況が続いており、14年暦年での受注額は日工会殿が上方修正された1兆4千500億円を達成された模様です。我々の足場である内需も6月以降400億円を超える状況が続いており、アベノミクスによる数々の支援策と円高是正によって、長らく厳しい競争を強いられてきた我が国の製造業も明るさを取り戻して参りました。

好調な環境を背景に、昨年秋に開催された米国IMTS2014、また我が国のJIMTOF2014では共に来場者数が大幅に増加し、大盛況となりました。初日から大勢の入場者が出展ブースに押し寄せていましたが、新しい生産方式としての3Dプリンター等が注目を浴びていました。また、ユーザーインターフェースがスマートホンのように直感で操作できるというコンセプトが増えており、デジタル技術の進化が印象的でした。ドイツでは「インダストリー4.0」= 第四次産業革命という謳い文句で、ネットワークを介して工場内外のモノやサービスを連携させる「スマート工場」というコンセプトが打ち出されており、モノづくりの「多様化」、「デジタル化」、「ネットワーク化」の更なる進行が予見される年であったように思います。このようにモノづくりを取り巻く環境が激変する中で、我々商社としてどのように対処していくべきか、新年にあたり私の考えを述べさせていただきます。

1. 時代の潮流を読む

日工販の会長に就任して3年半が経ちますが、ありがたいことに様々な方から工作機械業界の歴史・変遷についてお話を伺う機会があります。例えば1970年代、当時はあまり注目されていなかった工作機械のNC化に果敢に取り組まれた方々が居られ、そのご苦勞のお話を伺うと、時代の大きな節目に先例にとられない感性を持って将来像を描き、果敢に挑戦して行かれた先人たちが居られたからこそ、現在の日本の工作機械業界があるのだという感慨を持ちます。現在の3Dプリンターなどに代表されるモノづくりの「多様化」「デジタル化」「ネットワーク化」についても、グローバル目線で将来に目をはせて潮流を読んでいくことが大切だと思います。日本の工作機械業界が今後も世界をリードして行く為には、広範な情報を最大限活用できる我々商社が、アンテナを高く張って新しい潮流を読み、時にはその流れを加速させるべく、大胆に発想、提案し、業界の変革・進化に向けて仕掛けて行くことも必要ではないかと考えます。

2. オープンな結節点として

「デジタル化」や「ネットワーク化」が加速することにより、製造業においてもベンチャー企業がさらに増加してくるのではないかと思います。参加者が自由に入出りできるオープンなプラットフォーム上に、製品ユーザーや大手メーカーに加えて、特徴ある技術を持った製造業ベンチャーが参画し、個別のカスタマイズが可能で新しいモノづくりを行うといったコンセプトが出てくるのではないかと思います。一方で、リアルなモノづくりの世界では、ネットのみを介したモノづくりに危うさを感じるのも事実です。こういう時代だからこそ、機動力と柔軟性を活かし、バリューチェーンの中で欠けている機能を埋め込んで行く、そういう商社の役割が期待されていると思います。広くさまざまな業界に接している我々がネット上ではなくリアルな世界でオープンに参加者を募り結節点で行く、そういう機能が重要になってくると思います。日本には世界最高レベルの技術力、ものづくり力を有する中小企業が数多くあります。我々商社が結節点となってこれらの企業を交えたモノづくりの日本連合を構成して行く、そういう役割を果たして行く必要もあるのではないかと考えます。

3. 日工販として

上述のように、広範な情報を元に潮流を読み、変革・進化を促していくという商社の役割は、我が国の製造業、即ち国力を強くして行く為にも必要であり、活躍の場が今後ますます広がって行くものと思います。日工販には、正会員、賛助会員を合わせて日本全国の147社が参加していますが、このネットワークを強化し、日工会殿をはじめ関係諸団体、メーカー様との連携を密にしながら、日本のモノづくりの進化・発展に貢献して参りたいと思います。このためには、実際に現場で活動を担う人材の質の向上、戦力強化がなくてはなりません。日工販といたしましては、業界の人材の底上げに資するべく、育成プログラムなどを更に充実させて行きたいと考えておりますので、本年も引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、この一年が皆様にとって明るく素晴らしい年になりますことを祈念申し上げまして、私年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感



経済産業省製造産業局 産業機械課長

佐脇 紀代志

平成27年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

安倍政権が発足してから2年が経過し、アベノミクスの「三本の矢」により経済の好循環が生まれ始めております。こうした動きを一過性のものに終わらせず、持続的な成長軌道につなげていくために、引き続き、成長戦略を推し進め、製造業から日本経済の再生を成し遂げていきたいと思っております。

我が国は世界に先駆けて少子高齢化が進展し生産年齢人口が減少するなど、まさに課題先進国であり、世界中の国々から日本が如何に対処するのか注目を集めています。実際に、ものづくり現場においても人手不足の顕在化や生産現場の作業負荷などの課題に対して有効な手段を講じていくことが急務となっております。こうした課題解決の切り札として、ロボットが注目されています。人手不足やサービス部門の生産性向上を図るためにロボットを活用するとともに、これを梃子に裾野の広い機械産業の更なる成長へとつなげていきたいと考えています。現在、安倍総理の下に、有識者からなる「ロボット革命実現会議」を設置し、日本をロボットが牽引するイノベーションの拠点とするための戦略づくりを進めています。ロボット未活用分野への導入支援、

現場ニーズに即応した市場化技術開発、次世代のロボット技術開発を進めながら、並行して規制緩和、必要な安全規制の構築、標準化の推進など必要な環境整備を実施してまいります。

また、中長期的に国内市場の縮小が見込まれる中、我が国経済の牽引役となり、グローバルに活躍できる多様な企業群を継続的に生み出していくことが重要です。経済産業省としても引き続き、地域経済を支えながら、国際的にも高いシェアを保持するグローバルニッチトップ(GNT)企業を支援していきます。

併せて、我が国企業の海外展開を支援し、最先端のインフラシステム輸出を後押しし成長著しい新興国市場の獲得に向け、日本の優れた技術の世界に提供してまいります。産業機械課としても、世界最高水準の発電効率を誇る日本製石炭火力発電の輸出を推進してまいります。

さらに、法人税を成長志向型の構造に変革していく必要があります。実質的な法人税負担でみると日本企業の税負担は約30%と諸外国の企業より10%以上高い税負担となっています。数年で法人税を20%台まで下げるなど、高付加価値拠点・競争力確保に取り組んでまいります。

産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があつたら、気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶と代えさせていただきます。

年 頭 所 感



一般社団法人日本工作機械工業会 会長

花 木 義 麿

2015年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年の工作機械業界を取り巻く受注環境は、月を追うごとに回復基調が強まりました。年間受注額は、当初見通しの1兆3,000億円を大幅に上回り、更には、10月に上方修正した1兆4,500億円を超え、1兆5,000億円程度の水準に達したものと見込まれます。これは2007年に記録した1兆5,900億円に次ぐ、史上2番目の高水準となります。世界市場における日本の工作機械の高いプレゼンスを示すことができたと思います。

本年の工作機械受注動向については、アメリカの金融緩和縮小、新興国経済の成長鈍化、地政学的リスクの経済活動への影響など、一部には懸念材料もみられます。しかしながら、米国を中心として海外の主要市場において、需要は底堅く推移していくと見込まれます。国内の設備投資は、為替の安定による企業収益の改善に加え、ものづくり補助金や投資減税など政府の諸施策の後押しを受け、老朽設備の更新需要の顕在化により堅調に推移すると見込まれます。

このような背景を踏まえ、本年も昨年同様、高水準の受注が見込めるものと思われ
ます。

当工業会は「工作機械産業ビジョン2020」で示した、①産学官連携の強化、②標準化
戦略の強化、③JIMTOFの求心力強化、④人材の確保・周知策の強化等、中長期的な視
点でわが国工作機械産業が克服すべき諸課題に取り組んでおります。これらを具現化
していく日工会の事業活動は関係各位のご尽力により大きな成果を上げつつありま
す。

本年はこの活動をさらに強力に進めて参ります。例えば、産学官の英知と力を結集
して先端技術の研究や規格・標準化に取り組む「加工システム研究開発機構」の立ち
上げを図ります。また、将来、拡張が予定されている東京ビッグサイトで開催する次回
JIMTOF・Tokyo2016に向けて、日本の優れた工作機械を国内外へ、より大きくアピー
ルできるよう準備してまいります。そして、本年10月に開催予定の工作機械トップセ
ミナーにおいても、学生の皆さんに工作機械産業の魅力を大いに発信していきたいと
思います。

日本の工作機械産業が、世界のものづくり産業の繁栄に貢献していく重要な役割を
果たすべく、これら諸活動に鋭意取り組んで参ります。関係各位にはご指導、ご鞭撻と
更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年が皆様にとって、大きな飛躍の年になることを祈念致しまして、年頭のご挨拶
とさせていただきます。

JIMTOF 2014 報告

(第27回 日本国際工作機械見本市)



10月30日から11月4日までの6日間JIMTOF2014が開催されました。下記に示すように来場者数及び出展社数が前回を上回りましたが、特に海外からの来場者が1万人を超え過去最高となりました。

初日は来場者45,700名となり通路にも人があふれる混雑ぶりで、東京ビッグサイト展示面積の限界を感じましたが、東京ビッグサイトより次回の2016年は東ホール隣接地に1.6万平方メートルの拡張予定と発表があり、更に2020年の東京オリンピック開催に合わせて新展示スペースを拡張する予定でとのことですので現在の8万平方メートルから10万平方メートル強に拡張される予定となります。

10万平方メートル台に拡張されても展示面積47万平方メートル第1位のドイツ・ハノーバーのとは展示面積では圧倒的な差がありますが内容で勝負といった主催者側にも展示者側にもその分様々な面で努力が見られます。

| | 2014年 | 2012年 |
|--------|------------------|-------------|
| 会期 | 10月30日～11月4日 | 11月1日～6日 |
| テーマ | モノづくりDNAを未来へ、世界へ | 匠の技と先端技術の融合 |
| 来場者 | 131,196人 | 128,674 |
| (海外から) | 10,539 | 8,347 |
| 出展 | 865社 | 815社 |



9月に開催されたIMTS2014でも話題となっていましたが Additive Manufacturing という付加製造技術と切削加工の融合が今回の話題の一つでした。切削加工に樹脂や金属材料の積層技術3Dプリンターが付加された機械がDMG森精機、ヤマザキマザック、松浦機械製作所などが展示していました。更に話題の一つとしては「自動化」に対して多くのメーカーの様々な工夫が見られました。

分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.140

JIMTOF 2014における 最新の加工技術



(株)牧野フライス製作所
EDM R&D本部 営業技術部 課長

根本政典

放電加工という分野は、現在その職業につかれています方、或いは工学部ご出身でその分野を学習された方以外にとっては、あまり馴染みのない加工方法かもしれません。

皆さんが、放電現象を最も身近に感じるのは「雷」ではないでしょうか。雷の原理は、地上で温められた空気から上昇気流

が発生し、雲の中で氷の粒や水蒸気がこすれ合って雲の上の方にプラス、下の方にマイナスの電子がたまりやすくなります（図1）。通常空気は電気を通さないことをご存じだと思いますが、プラス極とマイナス極の電位差がある一定の限界を超えると、難しいことばで「絶縁破壊」というのですが、一度に100KA以上の大電流が瞬時に流れて雲の

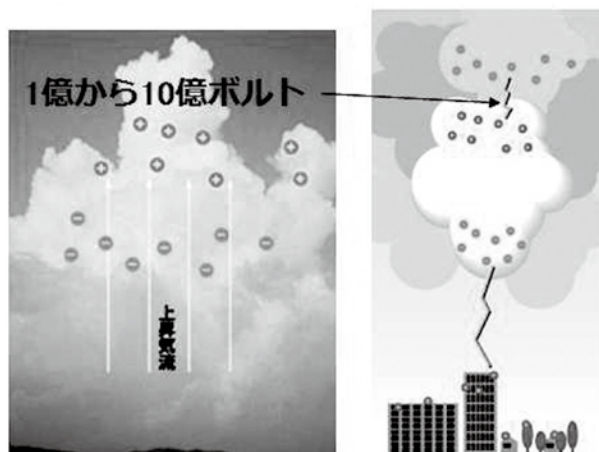


図1 雷も身近な放電現象

中でピカッと光る、これが放電現象です。

放電加工機の基礎原理は、図2のようになります。加工物と電極を十分なギャップをもって対峙させ、周りを絶縁液である加工液で満たしておきます。この加工液というのは、一般には市販されている放電加工用油を使用します。加工物と電極間の電圧を徐々に上げていくと、つまり通常加工物はテーブル上に固定されて動かないので電極を下げていくのですが、そうすることで電界強度で絶縁が破壊され、雷と同じように放電が発生して瞬時に電流が流れます。

放電加工は加工物が爆発・気化を繰り返すことで加工が進展するため、加工性能は材料の硬さには依存しません。導電性の材料であれば基本的に加工できますが、加工速度や表面粗さは材料の融点や熱伝導率に大きく左右されます。

放電加工の基礎をご理解いただけたところで、JIMTOF2014における最新の加工技術を二つほどご紹介しましょう。一つめは「HS-Rib」、リブは図3のように樹脂製品のあらゆる部分に補強を目的として配置されますが、切削加工による金型高硬度材への直彫り加工が進むなか、最終工程で実施されることの多いリブ加工（図4）の高速化は必須要件です。リブ加工の高速化こそが、金型の納期を左右すると言っても過言ではありません。「HS-Rib」は高速で電極をジャンプさせることで、増加する吸引力により加工くずの排出効率を高め、加工速度を大幅に向上させるものです。図5は従来の加工方法との比較ですが、120分の連続運転でこれまで28.2mmしか加工できなかったものが、48.5mmとおおよそ1.7倍に向上しました。

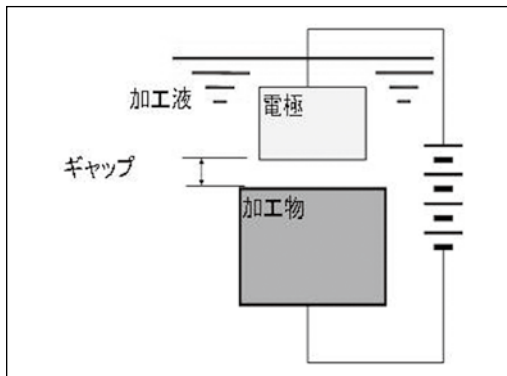


図2 基本原理

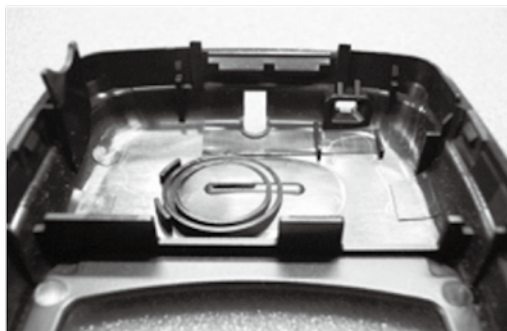


図3 携帯電話（樹脂カバー）

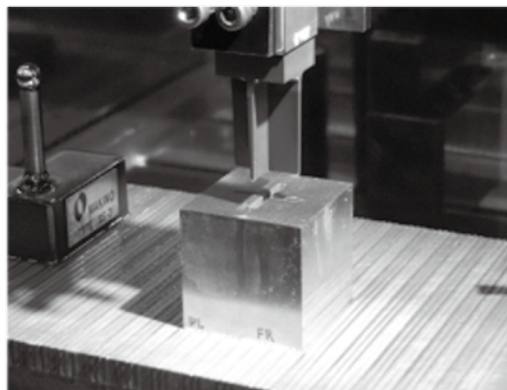


図4 補強リブの金型への応用

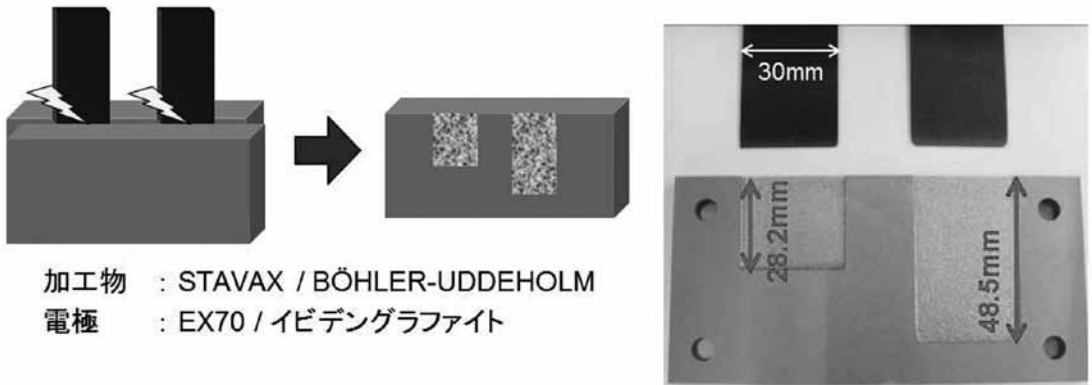


図5 HS-Rib 加工速度検証

二つめは「Flower Pattern Surface」といわれるもので、樹脂型を離型性に優れる加工面に仕上げるものです。図6からわかるように、同じ加工面粗さであれば山と山との間隔（RSmという値で表す）が長いほどカス（残滓）が溜まりにくいので離型性に優れ、かつ金型を清掃する間隔を長くとることができます。

ソ連のラザレンコ博士が放電を連続的に発生させるための手法を開発したのが、今からおおよそ70年前です。金型を製作するにあたって放電加工は必要不可欠で、高精度な金型を少しでも安く、かつ早く作りたいという市場の要求とともに様々な革新的な技術が生まれました。今後もあっと驚くような技術を提供し続けたいと思います。

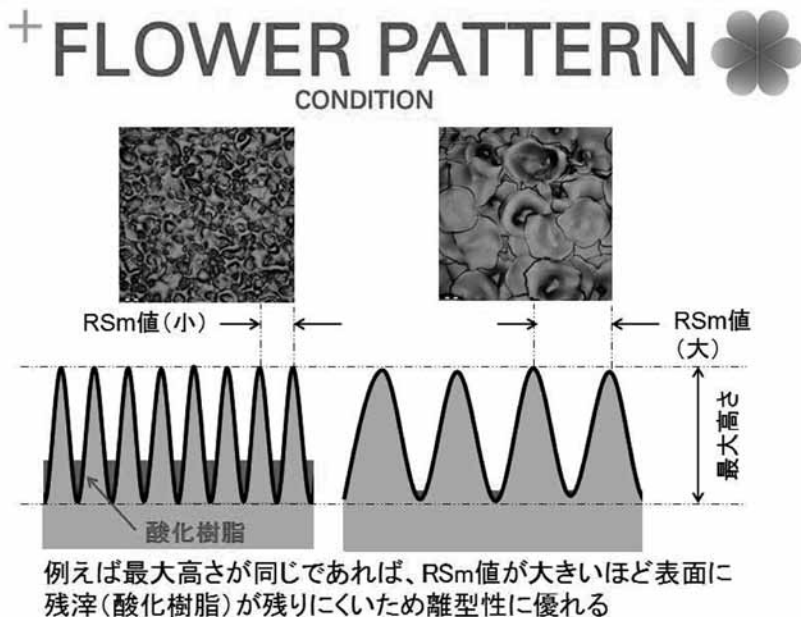


図6 Flower Pattern Surface



リレー随筆



カムタス(株)
西日本営業所所長
稲垣 雅信

皆様、はじめまして。カムタス(株)の稲垣と申します。伊吹産業(株)横幕様より突然の電話がありました。商談の電話と思い、喜んで出ましたところ今回のリレー随筆の依頼でした。横幕様とは同窓生ではありませんが中学、高校で若干の繋がりがございまして、半ば強制でしたが先輩の言うことは聞かなければならないということもあり、久々に文章なるものを書くにいたった次第です。

弊社カムタス(株)は1999年に当時の日本オリベッティ(株)よりCAD/CAM営業部が分社独立した会社で、現在はCAD/CAMソフトウェアの開発、販売を専門に行うメーカーとして日々活動しております。私は1989年に日本オリベッティ(株)に入社しそのままCAD/CAM営業一筋に現在に至っております。もう26年になる事に改めて驚いております。

入社して以来この世界も大きく様変わりしてまいりました。PCの進化は実感としてお分かりいただけと思いますが、CAD/CAMソフトの世界も大きく変遷いたしました。当時(1989年)はいわゆるバブル絶好調。営業1年目から何百万円もするソフトが非常によく売れる状況に驚愕した事を覚えております。特にプレス金型製造のお客様がワイヤーカット機やマシニングセンターを多く導入されました。それに伴いNCデータを短時間に作成するためCAD/CAMを購入するという構図です。その後95年ぐらいでしょうか図面の受け渡しはFAXからデータに徐々に変わり始め取引先からFD(当時はフロッピーディスク)で送られて来るようになりました。しかしながら1MBという容量ですので2次元データが主流であったのは当然です。3次元データを受け渡の際は当時MT(マグネチックテープ)を利用しておりました。直径30センチ厚み3センチぐらいでしょうか昔の戦隊ものに出てくるような巻き取り式リールで持ち運んでいたんですね。えらい時代です。しかしこのあたりから人件費の安い海外での加工を目的としNCデータ及び図面が海外へ出るようになり始めました。CAD/CAMで作成されたデータはご存知のように完全なるデジタルデータです。X、Y、Zの座標値はもちろんのこと切削条件まで出てしまいます。ある時お客様より「日本の製造業が疲弊し始めたのはCAD/CAMでデータ流出が始まったせいだ。」と言われたことがありました。確かにその一端はあるかもしれませんが、正直ショックを受けたのを覚えております。

しかし昨今は日本の製造業も徐々に復活しつつあります。4軸、5軸等の複合化や高速切削技術等、機械や工具も日々進化を遂げております。嬉しい限りです。しかしそれに伴い私もまだまだ勉強していかなければなりません。もうええ年なんぞについていけるかな？

先日、昭和の名俳優 高倉健さんがお亡くなりになりました。12月10日に手記が公開されました。その中に「往く道は精進にして、忍びて終わり、悔いなし」という言葉を残されております。いい言葉だと思いました。

引用させていただくのもおこがましいですが、私も日本の製造業のお役に立てるよう日々精進勉強していきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

次回、(株)ジーネット 天知部長 バトンよろしく願います。

『探偵ガリレオ』 東野圭吾 著



(株)カナデン

産業メカトロニクス部産業機械課

伊野裕介

シリーズ累計1,000万部を超え、テレビドラマ化、映画化もされている有名タイトルの初作編です。エンジニア出身として有名な著者ですが、本編第一話の「燃える」の内容から業界の近さを感じた事と、映像化を前提とした様なエンターテインメント性に富んだ展開に引き込まれ、本作に収録されている短編五話に続き第二作『予知夢』、第三作『容疑者Xの献身』まで一気に読んでしまいました。超常現象のような事件が発生し、担当刑事・草薙俊平が頭を悩ませているところを、友人である天才物理学者・湯川学があまり一般的には知られていない科学技術に結び付けて解決に導いていくというストーリーで、本作では第一話と第三話に工作機械が登場します。

第一話は、深夜の住宅街で自販機前にたむろしている若者の頭が突然燃え上がるという事件。このトリックに関係して、「時田製作所」という町工場が登場します。従業員3名、主な仕事は自動車部品の試作請負生産。設備は、かつて社長が勤めていた重機メーカーから払い下げてもらったという古いM社製放電加工機2台、ワイヤカット2台。コーナ部分の精度が厳しい加工はできないという条件付き。同様に安く譲り受けた古い炭酸ガスレーザ加工機が1台。数ミリの鋼板切断と溶接が可能との事。この中の設備の一つが事件の鍵となっていきます。

第三話では電機メーカーの試作部試作一課勤務の若い女性が、医者も警察も頭を悩ませる奇怪な事件を起こします。現場描写として旋盤やボール盤をはじめとする工作機械が登場し、金属研磨粉が髪に付くのが現場女性の悩みといったエピソードも出てきます。

上記のほか、行方不明者の顔が転写されたアルミ板が発見される事件や、幽体離脱といった事件まで出てきますが、こうした難事件を担当するのは文系の草薙刑事。原因究明の過程で出てくる理系的な話にほとんどついていけません。第一話では、若者の頭が突然燃え上がったのは自然界で発生したプラズマが原因だ、というマスコミ説を受けて相談に来た草薙を、湯川は部屋を真っ暗にし、電子レンジと電球で発生させたプラズマを見せながら茶目っ気たっぷりに迎えますが、実験を見ても説明を聞いてもいまひとつイメージがわからない様子。そのやりとりは、新入社員の頃の、先輩や客先の技術的な話がいまひとつ掴めないまま話だけは進んでいくという状況に近いものを感じました。

(文系の機械営業の方は少なからず同様の経験をされた事があるのでは?)

中にはコーナ部分の加工精度が云々といった様な専門的な内容も出てきますが、著者が分かる人にだけ分かる様に仕込んだという感じで堅い雰囲気はなく、全体的には日常感のあるストーリーで構成されており、社会人向きの内容です。

TVドラマ、映画を見られた方でも、原作では「時田製作所」の設備のウンチク等メインストーリー以外の部分も楽しめますので、是非一読をお薦めします。

工作機械と私



(株)山 善
機械事業部
西日本営業部大阪営業課課長

岩瀬 英 治

工作機械との出会いは、今から22年前の平成4年に(株)山善に入社し機械部に配属になってからです。学生時代は漠然と商社に入り貿易の仕事をしたと思っていましたので、入社時の第一希望部署は国際本部でした。しかし、第2希望の機械部配属となり工作機械という言葉を知りました。世界を渡り歩く商社マンを夢見て入社した私は、最初あまりにも地味な仕事に失望感を抱きました。現実を知らない学生だったんですね。今では、生涯の生業として楽しく働いています。

工作機械の営業は専門性が求められますので、商品知識がある一定レベルになるまでに数年、また営業として一人前になるまでにも5年程度は必要だと思います。入社当時、業務(営業のヘルプ)の仕事をしている時は、ユーザーさん、販売店さん、メーカーさんの名前を覚え商流を理解するまでに相当時間がかかりました。電話で用件を聞いても全く理解できず苦労したのを思い出します。日本語なのに理解できない不思議な感覚で恥ずかしく思いました。営業に出ても、『2番のプライス盤のカatalogがほしい!』、『6尺の汎用旋盤を見積してくれ!』と言われても、メーカー及び機種選定が全くできず何度も聞き直し叱られたのを覚えています。

平成7年より宇都宮支店に転動になり、一人で機械の営業として廻るようになりました。大宮市にあった営業本部にいた時は、機械部の上司・先輩達が一緒だったのですぐ相談できましたが、宇都宮に移ってからはほぼ全てが自分で判断になり大変苦労しました。また、当時は不景気で最初の数年は全然売れず苦しい時期を過ごしました。メーカー営業の先輩方に同行PRして頂き、営業と商品を教えて頂きました。栃木県の市場は自動車、建機、航空機、光学機器等様々な業種があり、色々な種類の工作機械を販売できました。この時期の経験が今の礎になっているように思います。

その後、岡崎支店に異動になり9年と半年を愛知県で生活しました。子供達もここで成長し三河弁バリバリの愛知っ子です。三河に行き最初に驚いたのは自動車メーカーとその下請けの工場の多さです。大きな工場から町工場まであちらこちらにあり市場の大きさに驚かされました。栃木に比べ量産向けの工作機械が多くなり、販売する機械の種類は少なくなりましたが複数台の物件が増えました。また、世界と戦っている自動車業界ですので、価格・サービス・納期と全ての要求が非常に厳しかったのを覚えています。一番記憶に残っている受注は、タイの洪水の時に現地向けに1案件で77台の注文を貰えたことです。

平成24年春に現在の職場である大阪に異動して来ました。商人の町大阪です。商売は厳しいですが、やっと慣れてきて少し楽しめるようになってきました。中小企業の町ですので、大型物件も大型機も少ない市場です。ただ、中小企業数は多いですから、物件数の確保が勝負です。市場全体を理解するまでにはまだ時間が掛かりそうですが、日々勉強していきたいと思っています。

工作機械業界に関わる一人として、これまでお世話になってきた方々、そしてこれからもお世話になる方々、そして業界の発展に少しでも恩返しができるように精進してまいります。

コミュニケーション不足



株井 高
常務取締役

石川 博

最近社内外で「コミュニケーション不足」という言葉を耳にします。

昔と違い情報通信機器が溢れ返っている現状にも関わらずです。固定電話しかなかった時代から考えると現代は夢のような世界が現実となっているのです。情報通信機器もデスクトップ型のパソコンから携帯型に変わり、今やタブレットを鞆に入れて持ち歩いています。

携帯電話も多くがスマートフォンに変わり一人一台以上保有している現状です。因みに私は旧態依然の携帯電話いわゆるガラ携を使い続けています。いつでもどこでも情報が取れ、情報が発信できる機器を持ちながら「コミュニケーション不足」を社内外で取り上げているのはどうしてなのでしょう？

私が思うには便利になり過ぎて、それが当たり前になってしまい、古くから言われている「凡事徹底」が出来なくなってしまったのではないかと……。

お客様からはスピードを求められ、即時、或いは特急での要請など、とにかく急がされ取り敢えずメールで回答して仕事を終わらせたものと思いでいる方が多いのではないのでしょうか。

しかし考えてみるとこのメールでの仕事は実に中途半端で一方通行に終始しています。私も先日、某メーカーの営業マンから「その件メールで入れておきました」と、いとも簡単に言われ「あっそうですか」と答えるしか有りませんでした。少なくともメールだけでは済まない重要案件などに関してはメールを入れましたので確認をお願いしますといった電話が出来なかったのでしょうか。

入社当時は固定電話しかなく、書類は全て手書き、見積書も当然手書きでカーボン紙を使って作成していました。間違えると最初から書き直さなくては行けないので一字一句丁寧に慎重に書いていたものです。それが今はいとも簡単に修正出来るので気軽に色々な書類を作成しているのではないのでしょうか。

人との会話の基本はフェイス to フェイスであると思っています。これは基本中の基本で、それが出来ない時に電話で話をする、次にメールをするという順番でしょう。

先にも述べましたように一方通行は良くありません。忙しいという言葉に隠れて一方通行が横行していると思います。スピードを追い求めると余裕が無くなり、焦りが生まれ、見るべきものが見えなくなり間違いも多くなります。リニア新幹線では名古屋・東京間を40分で結ぶと言われています。車窓から何が見えるでしょうか？ 遙かかなたの景色をぼんやり見る事が出来るだけではないのでしょうか。スピードも良いのですが一度ゆっくり自分の足で近くを歩いてみませんか。今まで気にしていなかった事にきつと気付く事が出来ると思います。道端の草花や街路樹や公園や空き地に、あれっいつの間にこんなところに家が建った？ どの家なの？ 恐らくたくさんの方に気づかれますよ。

現代の利便を生かして、ゆっくり考える時間を作りだし、この厳しい時代を乗り切って行きたいものです。

議事録から

第253回 定例理事会

日時：平成26年11月13日(木)

13:00～15:00

場所：名古屋・安保ホール 101号室

出席者：会長、副会長3名、専務理事、

理事20名、監事1名、事務局1名

会長挨拶：

JIMTOFが先日無事終了しましたが、今年の入場者数は13万6千人ということで2年前が12万8千人、4年前が11万4千人でしたので、大幅な入場者増という結果でした。JIMTOFの開催にあたって日工会花木会長が年初の1兆3,000億円という受注計画を1兆4,500億円と上方修正されましたが、JIMTOFは大変な盛況で行かれた方は体感されたと思いますが通路が歩けないくらいの来場者でいっぱいでした。10月の速報ができましたが2カ月連続して1,300億円を超えており、4月～10月でみますとほぼ9,000億円ということで、月間平均1,280億円位できていますので、これを単純に12倍すると1兆5,000億円を超えるというペースできており環境が尻上がり良くなってきている状況です。それでは議題に移ります。

(1)平成26年度上期収支報告：

専務理事より報告。

1. 一般会計

①収入では、期初予算に対して7月に賛助会員

として浜名エンジニアリング㈱が入会し、8月に正会員㈱東陽が東部地区副会員登録したことにより会費増分がプラスとなっている。

②支出では、消化率が50%を超えている支出について下記説明。

1. 通勤交通費：

上期4月、9月にて一年分消化。

2. 交際費：弔電、弔辞費用増

3. 負担費：公認会計士費用支払い済

4. 会議費：総会費用にて殆ど消化。

残りは理事会費用。

尚、事業補助費については各委員会では下期に行事が集中しているため上期の消化率は少ない。

2. 教育事業

①収入では、いずれの研修も期初に立てた目標人数を下回ったため収入減となる。

②支出では、消化率50%を超えている支出については下記。

1. 通勤交通費：一般会計と同様。

2. 印刷費：各講座の印刷費への振り分けが下期末に行われる。

3. 雑費：銀行振込手数料増

4. 認定費用：認定者増により郵送費増

11月6日に増田公認会計士より実施された監査結果については、公認会計士からの監査報告に関し下野監事より問題点がなかった旨報告。

(2) 流通動態調査平成26年9月結果、日工会・ 工作機械短観調査：

専務理事より報告。日工販の流通動態調査1の受注推移は日工会発表内需推移とほぼ同じ傾向を示している。流通動態調査2では3カ月前の調査に比べて全体的に若干見通しが悪くなっている。日工会短観についても先月に比べ同様な傾向。

(3) 韓国国際自動化展2015(3月18日～20日、 2015)参加募集結果：

専務理事より報告。前回理事会で会員宛て呼びかけることになったが現在1社のみ申込。開催までまだ時間があるので一応年末を最終として再度参加検討願うこととなった。

(4) 委員会報告：

①政策委員会

上田会長より報告。10月19日に(一社)日本鍛圧機械工業会(日鍛工)役員との懇親会が行われた。先方から会長、副会長、専務理事の計5名、当方からは私を含めて5名。話も弾み第1回目としては非常に有意義な会合であったし今後も定期的に会合を持って行きたい。

②教育委員会

池浦委員長より報告。今年度教育研修は明日から開催される更新研修名古屋会場を残すのみで基礎講座、SE講座、更新研修東京会場は終了し、受講生は基礎講座102名、SE講座は119名、更新研修東京会場は18名、名古屋会場は49名予定という結果となった。いずれの講座も期初に計画した人数を若干下まわったが基礎講座とSE講座は昨年度実績を上回っている。更新研修についてはSE資格を持ったベテラン社員が対象なので現在のような繁忙期になると受講する時間が取れず来年受講に延期している社員が多いと思われる。今年度

から新しく講座を担当された講師について専務理事より報告。3講座と新設した講座を加えた4講座の新任講師はいずれの方もアンケート結果は満足度が多く実際に聴いていても期待以上の講義レベルであった。

③国際委員会

委員長に代わり専務理事より報告。9月8日から13日まで開催されたIMTS2014シカゴ国際工作機械見本市へ出張。主催者AMT(Association for Manufacturing Technology)による開会式(9月8日)及びGeneral Managers' Meeting(9月10日)に参加し海外関係団体と交流を深めた。来場者は史上最高レベルで114,147人と発表があり40カ国、1,900社が参加した。専門誌Gardner社が2015年の金属加工向け設備投資予測としては37%増の88億2,200万ドルと発表していたので会場で注目を浴びていた。理由の一つに設備稼働率が限度の80%にきていること。会場の機械は自動化が顕著でロボット総数は前回の5割増しの197台。

④東部地区委員会

中島委員長より報告。10月3日に東部地区製品研修会を開催し、メーカーは7社にお願いした。参加者は76名と大盛況でメーカー側も熱心に説明され非常に有意義な研修会だった。11月8日に懇親ゴルフ会を川越カントリークラブにて開催。平成20年以来となる久し振りの懇親ゴルフ会で3組12名の参加で、プレイ後の懇親会は東松山駅前の『ひびき』にて開催した。優勝は上田会長。

⑤中部地区委員会

高田委員長より報告。9月11日に3D加工機に特化した製品研修会を開催し、65名が参加となり参加メーカーは5社。続いて10月8日にJIMTOF出品機に関する製品研修会を開催し、79名の参加となり参加メーカーは6社。

今後の予定として12月の17日又は18日に工場見学会開催の予定をしており、見学先はデンソー西尾工場、ジェイテクト刈谷工場を見学予定。12月4日に忘年懇親会を開催予定。講師はトヨタ自動車(株)高見常務理事にお願いし仮題は『生産技術革新を基準とした競争力強化』。

⑥西部地区委員会

赤澤委員長より報告。9月22日にJIMTOF 出品機に関する製品研修会を開催し、82名が参加となり参加メーカーはの5社。10月22日

にセールスマン研修会を開催し川崎重工役員の高賀氏が講演。演題は『我が国の機械産業の将来展望と川崎重工のものづくり戦略』で分かり易く内容の濃い講演だった。第二部として専務理事より対面業界についての講義とIMTS 報告があった。11月12日に兵庫県センチュリー三木ゴルフ倶楽部にて開催、天気にも恵まれて4組14名が参加し植田機械(株)松田会長が優勝。プレイ後の懇親会で参加各社より近況報告あり西高東低といった状況で明るく力強い報告が多かった。

西部地区講演会・忘年懇親会

講演会

日 時：平成26年12月3日(水)

15:00~16:45

会 場：大阪弥生会館「三笠の間」

演 題：

「アナウンサーの取材メモからとっておきの話」

講 師：石川 顕 氏

元TBSアナウンサー、現在フリーアナウンサー、スポーツ評論家。関東学院大学講師、文教大学講師、横須賀親善大使。

出席者：正会員34名、メーカー賛助会員22名、リース賛助会員12名、招待他11名、
総計79名



講師 石川 顕 氏

植田社長(植田機械(株))より本日の講師である石川顕氏の紹介があり講演がスタートしました。

講演要旨

忘年会ですので明るいお話をという希望を取り入れ、石川氏が現役時代会ったスポーツ選手達のエピソードの披露がありました。

特に印象的なのは長嶋茂雄氏(読売ジャイアンツ・終身名誉監督)の逸話の数々で、お話を聞いてより長嶋氏が好きになった方々が多いのではないかと思います。おそらく石川氏自身が最も好きな方の一人ではないかと思いますが、次にお話の頻度が多いのが松井秀喜氏(元・読売ジャイアンツ・4番打者)ですが、彼もお話から立派な青年であることが良く分かりました。

次ページより長嶋氏に関するエピソードを二つ紹介します。



○1,500万円のお話：

ベンツの高級車を現役時代の長嶋氏が乗っているのを見た巨人軍の某選手が長嶋氏に「そんな素晴らしい高級車に乗ってみたいな」と話したら「今年最も活躍したらこれをあげるよ」と長嶋氏は答えました。それを聞いた某選手は頑張っていて、頑張って何とその年のMVPを獲得してしまいました。早速長嶋氏の所へ行き「約束のベンツを下さい」と言いましたら、長嶋氏はその約束をすっかり忘れており「あっ! その車ついこの前売ってしまった!」と答えましたが、数日して長嶋氏が紙袋を抱えてきて彼にその「このお金でベンツを買って」と紙袋を手渡しました。その紙袋の中には1,500万円が入っていたとのことです。

○3,000万円のお話：

長嶋氏が全日本の監督に就任された時、3,000万円が渡されましたが現役ではないという理由で受取を拒否したそうです。

講演の最後に石川氏の発案で腕立て伏せの勝負を会場の出席者に求めましたが、誰からも手が上がらず、司会役の植田氏が指名され腕立て伏せ競争を始めました。

スポーツマンの植田氏ですが、多忙な社長業に加えて40歳を超えており、ご本人は良くて20回ほどとのことでしたが、熱戦の末、植田氏は30回を超えてギブアップとなりました。一方、石川氏は三桁の回数まで行けるのではと思われる勢いでした。

忘年懇親会



赤澤西部地区委員長、植田社長

会 場：「六甲の間」17:00～18:45
出席者：正会員32名、メーカー賛助会員27名、
リース賛助会員19名、招待他11名、
総計89名

講演会に引き続き、植田社長（植田機械(株)）の司会のもとで忘年懇親会となりました。赤澤西部地区委員長（赤澤機械(株)社長）より平成26年度の活動報告と日頃の協力への御礼があり、来年の一層の飛躍を祈念して開会の挨拶があり、続いて上田会長（三菱商事テクノス(株)社長）より挨拶を頂きました。

大阪機工(株)取締役社長井関博文氏よりご挨拶と乾杯のご発声を賜り賑々しく開催されました。

活発な情報交換が行われる中、定刻となり宮脇委員（日工販副会長 宮脇機械プラント(株)社長）の中締めにより盛会のもとに散会となりました。



上田会長



井関社長



宮脇副会長

中部地区講演会・忘年懇親会

日 時：平成26年12月4日(木)

16:00~19:00

会 場：メルパルク名古屋

講演会

会 場：「瑞雲(西)の間」 16:00~17:15

参加者：130名

講 師：高見達朗氏 トヨタ自動車(株)常務理事

演 題：『生産技術革新を基軸とした競争力強化と工作機械業界への期待』

講演会は後藤社長(三栄商事(株))の司会により、講師 高見 達朗氏の経歴紹介があり開始されました。講演要旨は次の通りです。



後藤社長

講演終了の後、加藤中部地区副委員長(三立興産(株)社長)から、大変多忙な中、ご講演をいただきましたことに対し深謝の意を表し謝辞がありました。



加藤社長

講演要旨

1.トヨタ自動車の紹介

国内：12工場 4子会社

海外：27ヶ国/地域 50生産事業体

【企業理念】

- ・ 全社一丸となった社会貢献(産業報国)
- ・ 時代に先んじた改善・革新の追及
- ・ 地道な原価低減活動
- ・ 人材育成とチームワーク
- ・ お客様への感謝

【グローバルビジョン】

- ・ もっといいクルマの追及、“いい町・いい社会”づくりを継続するために
- ・ 長期目線で持続的に収益を確保

2.トヨタを取巻く経営環境

◆自動車市場の動向

- ・ 新興国中心に自動車市場は伸長
- ・ 各国環境規制が新興国を含めて2020年に強化される
- ・ 当面はコンベンショナル(従来型)が主流、孫の世代で先端環境車がボリュームゾーンになる

◆求められる製品

- ・ コンベンショナル(従来型)ユニット(ガソリン、ディーゼル)
 - ・ 先端環境ユニット(HV、PHV、FC)
- 真の競争力強化が必要!

3.競争力強化に向けた取組み

◆コンベンショナルユニットでは

- ・ 組織改革/組織の壁を撤廃、ユニットセンター化で効率化
- ・ 製品革新/基本性能の向上と効率の良い開発の実践

・ 生技革新／製品革新と連動した生産技術イノベーション

※基本は、トヨタ生産方式

◆先端環境ユニットでは

・ HV用電池 … 混ぜる～塗る～潰す技術（食品・印刷・鉄鋼）

・ FCタンク … 巻く技術（繊維）

・ モーター … 編み込む技術（紡織）

※従来とは異なる業界の技術・技能が必要となる
→まずは内製主導、今後皆様と協業



講師 高見達朗 氏

4. 工作機械業界への期待

・ 生産技術革新の鍵→粗形材革新&機械加工革新の両輪

・ 未来の工場→ゼロエミッション モデル工場へ

◆この為に期待する”シンカ”とは

① 金型の進化

・ 難削材化／高精度化する金型を加工できる高速高能率工作機械、工具の開発

② 工作機械の深化

・ 未来工場を見据えたエネルギー回生型工作機械

③ 加工法の真化

・ 次のイノベーションを生み出す粉体成型型工作機械

【最後に…】

・ モノづくりの根幹は人～業界の垣根を越え強靱なモノづくり人財の育成

・ 日本のモノづくりを支えているのは間違いなく工作機械業界

「世界をリードするもっといい設備と一緒に作りましょう!」と締めくくられました。



忘年懇親会

会 場：「平安の間」 17:30～19:00

参加者：118名

山本社長（釜屋株）の司会により開会されました。

◆開会挨拶

高田中部地区委員長（株井高 社長）より日頃の協会活動への御礼、高見様の講演に対する御礼を述べられ、2014年度行事に関する報告がありました。

『今年は、国内では自然災害が頻発し、経済面ではアベノミクス、円安などがあり、海外展開では若干滞り気味になったものの今後に期待したいところです。中部地区は昨年引き続き自動車、航空機業界いずれも好調で成果を期待出来る年であったものと思われま。昨年の忘年会では2015年までは投資継続が期待出来るとお話しましたが、本日の講演を拝聴して2020年までは更に期待出来るものと感じたところです。中部地区が元気になる事が業界発展に繋がりますので、皆様と共に業界発展の為にしっかり取り組んで行きたいと思ひます』との挨拶がありました。



高田中部地区委員長

◆会長挨拶要旨

上田会長（三菱商事テクノス株社長）より日頃の協会活動への協力御礼がありました。『今年の受注は月間1,000億円以上を継続しており、直近では



上田会長

1,400億円を超えている事から1兆4,500億円が見込まれ着実に推移しています。内需でも6月以降では月間400億円を確保しており、いよいよ月間500億円も見えてきており、長い間苦しい競争を強いられてきました日本の製造業界にもようやく明るい兆しが見えてきたものと感じているところです。IMTS2014、そしてJIMTOFを見学したところでは本日のご講演の通り、3Dプリンター、スカイピング加工といった新しい加工技術が多く展示されており、モノづくりはどんどん多様化して行くということを感じたところです。その中であって販売する商社としてはネットワークを活かして時代の潮流をしっかり読みながら、商社ならではの提案をして日本のモノづくりの進化を仕掛けて行くことが必要と思われま。日工販としてはモノづくりの進化へのプラットフォームとなる場の提供、人材教育と多面的に一層の活動を展開して行きたいと思ひまので。引き続きのご支援・ご鞭撻を頂けま事をお願い致します』。

◆新会員紹介

「浜名エンジニアリング株」取締役 後藤正幸様から日頃の御礼と、賛助会員としてお世話になることのお願ひとご挨拶がありました。



乾杯：坂野社長

◆乾杯

坂野社長（豊和工業株式会社）より『今日はトヨタ様のイノベーションを拝聴し感嘆致しました。将来的には2050年に至っては大変であると感じました。モノづくりがどんどん変わって行くとのこと、業界としても対応して行かなくてはならないものと考えを新たにしました次第です。工作機械業界の今年は1兆4,500億円をクリアする見込みとのこと、我々も来年には更なる受注の拡大を期待していますが、それもアベノミクスの結果に大いに左右されるものと思われます。益々頑張って受注に向きたいところです。会員各位の来年の発展、そして皆さまのご健勝を祈念して乾杯!』

◆中締め

山下社長（山下機械株式会社）より『私が委員長拝名の折には東西地区よりもレベルアップを目指しておりましたが、高田委員長になられてからは特に忘年懇親会での講演会のレベルが上がりました。本日は高見様からトヨタ様の心臓部のお話を

聞かせて頂き大変勉強になりました。業界では今年年初の予想を上回って国内400億円ベース、このまま進めば相当の金額になると思われませんが、過去の例では6年程経てば不況が来ています。そこで現在気がかりな事はアメリカの車販売量が約1,700万台/年と聞き、これはリーマン直前2007～2008年の数字に近い。アメリカは精々1,400万台であり、それを上回る数字を売り込んでしまった訳で、いつまでもこの状況が続く訳ではないという気がします。本日の講演会から我々業界は今や金属加工工作機械に加えて別の新しいニーズに叶った技術、商品を開発・販売しなくてはならない事がはっきりと分かりました。早くデンソー、トヨタ様の世界へ近づかないと置いていかれるという危機感を感じさせて頂きました。

来年はどのような年になるのか?気を引き締めて業界の要求を良く見ながら進めたいと感じたところです』とご挨拶があり、来年も引き続き中部地区の繁栄を祈念して一本締めで締めお開きとなりました。



中締め 山下社長



東部地区講演会・忘年懇親会

日 時：平成26年12月5日(金)

15:00~18:40

会 場：KKRホテル東京

講演会

会 場：11階「丹頂」の間 15:00~16:40

演 題：

「アナウンサーの取材メモからとっておきの話」

講 師：石川 顕 氏

元TBSアナウンサー、現在フリーアナウンサー、スポーツ評論家。関東学院大学講師、文教大学講師、横須賀親善大使

出席者：正会員30名、メーカー賛助会員18名、

リース賛助会員2名、招待他6名

総計56名

藤井副委員長（三井物産マシンテック(株)理事）の司会により講師の紹介があり、講演が始まりました。

講演要旨は次の通りです。



司会 藤井東部地区副委員長

講演要旨

- 清原選手が初めて高級焼肉レストランでステーキを食べた時の話
- 世界陸上選手権女子1万メートルアメリカの19歳ランナーの話
- どんなに良い話をして、聞く方の心をつかまなければ心には残らない話



講師 石井 顕氏

- ・ 日本人は素晴らしい国民性だが足りないとするればジョーク、ユーモアは警戒観を一瞬に溶かす。心をつかむことが大事。
- 知っていると知らないとでは違う話
- 人がしゃべる時、3つの要素（話の内容、声のトーン・しゃべり方・話のうまい下手、見た目（第一印象））のどれが一番大事かの話
- ・ アメリカの心理学者が何百回何千回とテストをした結果、話の内容が7%、声のトーン・しゃべり方・話のうまい下手が38%、見た目（第一印象）が55%。見た目（第一印象）は大事。人間はワンクランプの法則があり、一瞬のうちに判断しなければならない動物。
- ほめる事の大切さの話（豚もおだてりや木に登る）
- ・ たった一言のけなしが人生を変える、ほめる事をもっともっとやるべき。
- ・ 部下の能力を認めるということはほめる事。ほめて伸ばす。やる気が出る、持っている以上の力が出る、成長し新しい世界が広がる。
- ・ ほめる事は一番のコミュニケーションのマジック。ほめ言葉はポイントが重要。
- ・ みんなの前でほめ、1対1になった時、もうひと押し。

○心と心、気持ちの勝負の話

- ・ 王、長島選手もそうだが、人間的にも素晴らしくハートがきれいなしっかりした方が中心（核）だと、その組織はものすごい回転をする。同じ団体の1番若く給料の安い方も大事にしていた。核なき組織は栄えない・核なきチームは勝てない。
- ・ 団体のなかでも心と心の結びつきは素晴らしい

結果を出す。

- 努力する人は世間が認めるという話
- 野球実況の情景が目に映り時間が流れるような実況アナウンスの再現と、チームリーダーの心の一言が、チームをとりまく者の将来の心へと繋ぐ話
- 松井選手のプレーから見える教育の大切さ、人格の話



忘年懇親会

会 場：11階「孔雀」の間 17:00～18:40
出席者：正会員37名、メーカー賛助会員29名、
リース賛助会員9名、招待他11名
総計86名

講演会に引き続き、藤井副委員長の司会のもと忘年懇親会となりました。

中島委員長（双日マシナリー(株)会長）より挨拶がありました。

乾杯に移り、上田会長（三菱商事テクノス(株)社長）より業界も元気になり活躍する場が出ており、商社のネットワークを活用し日本のものづくりを益々元気にしていきたいと力強い乾杯のご発声で賑々しく開催されました。



中島東部地区委員長



乾杯 上田会長

盛会のうちに野上副委員長（株ナチ常盤 取締役）の中締めの中締めの挨拶があり散会となりました。



中締め 野上東部地区副委員長



会場スナップ



西部地区研修会

日 時：平成26年10月22日(水)

13：30～17：00

場 所：大阪産業創造館5階研修室A・B

参加者：48名

第一部 13：30～15：00

『我が国の機械産業の将来展望—川崎重工業のものづくり』

講 師：工学博士 古賀 信次 氏

川崎重工業(株)技術本部フェロー(役員)
ものづくり担当

第二部 15：15～16：45

『工作機械市場動向、IMTS2014視察報告他』

講師：日工販専務理事 宇佐美 浩 氏

昨年度は宇佐美専務理事による若手研修会でしたが、今回は若手、中堅を対象とした二部構成の研修会となりました。

第一部は川崎重工業(株)技術開発本部フェローの古賀 信次氏による①当社の紹介②機械メー

カーの競争力とは③これからの成長領域④当社の製品戦略⑤事例 航空機・航空エンジンと云った講義内容でした。同社の紹介から大変興味深いのは2013年度の売上が約1.3兆円ということでもまさに工作機械年間受注に近い金額であり、同社1社の売上金額の中で工作機械メーカーが鎬を削りあっていることとなります。同社の売上は船舶海洋、車両、航空宇宙、ガスタービン・機械、プラント・環境、モーターサイクル&エンジン、精密機械・エンジン、グループ企業と幅広くそしてバランスよくそれぞれのカンパニーが市場で活躍しています。

第二部は宇佐美専務理事による①受注動向の分析②生産性向上設備投資③航空機産業④医療機器産業⑤関西地域設備・投資動向といった講義内容でした。工作機械の対面業界として自動車産業に加えて今後成長が期待されている航空機産業と医療機器産業について詳しく講義がありました。

東部地区委員会

日 時：平成26年11月25日(火)

16：00～17：00

場 所：双日マシナリー(株)会議室

出席者：委員長、副委員長2名、委員2名、事務局1名

打合せ結果：

それぞれの具体内容について検討、下記の通り決定した。

1) 情報交換会

2月26日(木) 15：00～17：00

機械工具会館 6階ホール

終了後、懇親会

2) 工場見学会(1泊2日)

場所：金沢～富山

3月5日(木) 午後より2社

3月6日(金) 午前1社、午後1社を予定。

東部地区ゴルフ懇親会

開催日：平成 26 年 11 月 8 日（土）

場 所：川越カントリークラブ

前回の開催が平成 20 年と 6 年振りの懇親ゴルフ開催となりました。ゴルフ日和の天候のもと

3 組 12 名の参加者がありゴルフプレイを楽しみました。栄えある優勝の栄冠は日工販会長、三菱商事テクノス(株)社長上田良樹氏に贈られました。

懇親会は東松山駅前の「ひびき」にて行われ名物の焼きトンソを味わい懇親の輪を広げました。

西部地区懇親ゴルフ会

開催日：平成 26 年 11 月 12 日（木）

場 所：センチュリー三木ゴルフ倶楽部

快晴のもと 4 組 14 名の参加者が仕事を離れて一日ゴルフプレイを楽しみました。

今回の栄えある優勝者はハンディキャップ 11

というローハンディキャップにもかかわらず見事な成績をおさめた植田機械(株)会長 松田紀男氏でした。

プレイ後懇親会の場で恒例の近況報告が行われましたが西高東低といった状況で明るく力強い報告がありました。

工作機械業種別受注額（2014 年 11 月）

12月17日発表

(単位：百万円、%)

| 需要業種 | 期 間 | 2013年 累 計 | 前年比 | 2014年 4～6月 累 計 | 2014年 7～9月 累 計 | 前期比 | 前 年 同期比 | 2014年 1～11月 累 計 | 前年同期比 | 11月分 | 前月比 | 前年同月比 |
|---------------|----------------------|--------------|---------|----------------------|----------------------|-------|------------|-----------------------|---------|--------|-------|-------|
| 1. 鉄鋼・非鉄金属 | | 11,473 | 157.0 | 2,872 | 2,277 | 79.3 | 75.7 | 10,179 | 96.2 | 1,247 | 171.3 | 128.3 |
| 2. 金 属 製 品 | | 18,278 | 128.1 | 4,711 | 7,119 | 151.1 | 127.4 | 20,954 | 128.5 | 1,856 | 89.7 | 125.3 |
| 機 械 製 造 業 | 3. 一 般 機 械 (内金型) | 162,918 | 101.8 | 45,026 | 56,229 | 124.9 | 124.7 | 182,409 | 123.3 | 19,781 | 102.9 | 115.4 |
| | 4. 自 動 車 (内自動車部品) | 123,560 | 106.0 | 41,701 | 42,048 | 100.8 | 128.3 | 150,389 | 134.3 | 15,942 | 114.3 | 117.4 |
| | 5. 電 気 機 械 | 19,948 | 99.6 | 5,269 | 8,407 | 159.6 | 166.7 | 24,240 | 134.9 | 2,340 | 81.7 | 145.9 |
| | 6. 精 密 機 械 | 14,129 | 88.3 | 4,668 | 4,834 | 103.6 | 140.7 | 15,747 | 122.2 | 1,492 | 112.6 | 98.9 |
| | 5～6.電気・精密計 | 34,077 | 94.5 | 9,937 | 13,241 | 133.2 | 156.2 | 39,987 | 129.6 | 3,832 | 91.5 | 123.1 |
| | 7. 航空機・造船・運送用機械 | 22,548 | 118.8 | 3,802 | 4,994 | 131.1 | 65.5 | 18,181 | 87.2 | 3,177 | 194.5 | 121.3 |
| | 3～7. 小 計 | 343,103 | 103.5 | 100,466 | 116,512 | 116.0 | 124.0 | 390,966 | 125.5 | 42,732 | 109.6 | 117.2 |
| 8. その他製造業 | 12,201 | 118.3 | 3,285 | 3,555 | 108.2 | 119.6 | 11,750 | 104.5 | 1,409 | 140.5 | 103.0 | |
| 9. 官公需・学校 | 5,134 | 159.3 | 463 | 949 | 205.0 | 62.8 | 3,666 | 80.7 | 620 | 56.9 | 101.6 | |
| 10. その他需要部門 | 5,561 | 95.5 | 1,308 | 1,896 | 145.0 | 118.6 | 5,779 | 113.0 | 556 | 119.1 | 157.5 | |
| 11. 商社・代理店 | 5,053 | 155.3 | 1,141 | 1,543 | 135.2 | 87.0 | 4,952 | 106.6 | 641 | 113.7 | 170.9 | |
| 1～11. 内 需 合 計 | 400,803 | 106.6 | 114,246 | 133,851 | 117.2 | 121.2 | 448,246 | 123.1 | 49,061 | 109.2 | 117.9 | |
| 12. 外 需 | 716,246 | 85.6 | 255,775 | 257,703 | 100.8 | 145.0 | 916,903 | 142.1 | 89,989 | 101.4 | 149.6 | |
| 1～12. 受 注 累 計 | 1,117,049 | 92.1 | 370,021 | 391,554 | 105.8 | 135.9 | 1,365,149 | 135.3 | 139,050 | 104.0 | 136.6 | |
| (内NC機) | 1,086,734 | 91.9 | 362,380 | 383,354 | 105.8 | 136.5 | 1,332,664 | 135.7 | 136,124 | 104.2 | 138.1 | |
| 販 売 額 | 1,094,673 | 82.3 | 304,536 | 399,149 | 131.1 | 137.5 | 1,283,387 | 129.9 | 107,114 | 99.7 | 129.8 | |
| (内NC機) | 1,066,968 | 82.5 | 297,144 | 390,941 | 131.6 | 137.8 | 1,252,482 | 130.0 | 104,575 | 99.8 | 130.4 | |
| 受 注 残 高 | 566,113 | 104.1 | 595,696 | 588,102 | 98.7 | 112.5 | 646,760 | 114.5 | 646,760 | 105.2 | 114.5 | |
| (内NC機) | 539,129 | 103.8 | 568,392 | 560,805 | 98.7 | 112.6 | 618,611 | 115.0 | 618,611 | 105.4 | 115.0 | |

(注) その他製造業 …… 楽器、皮革製品等の製造業

出所 (一社)日本工作機械工業会

統

計

資

料

工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

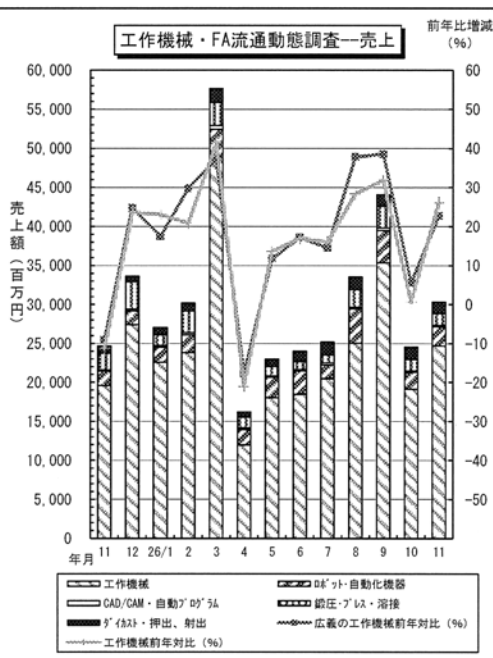
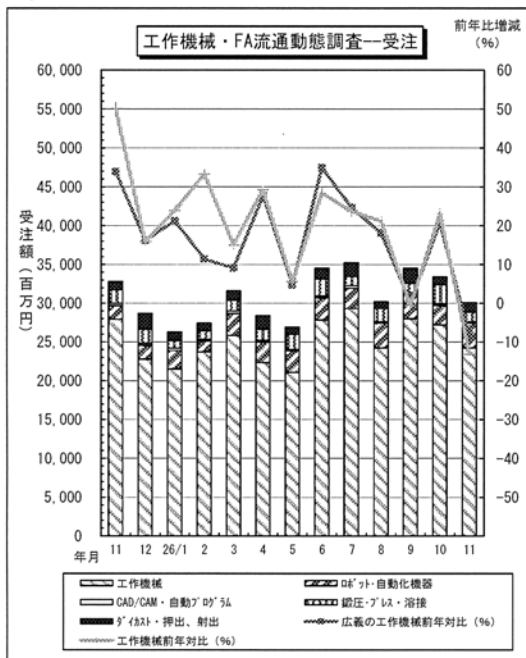
| 39社合計 調査月次 | 受 注 | | | | | 売 上 | | | | |
|-----------------|--------|------|--------|------------|--------|--------|-----|--------|------------|-------|
| | 26/11 | 前月比 | 前年比 | 26/1-26/11 | 前年比 | 26/11 | 前月比 | 前年比 | 26/1-26/11 | 前年比 |
| 工作機械 | 24,267 | -11% | -13.1% | 275,424 | 15.5% | 24,681 | 29% | 26.1% | 268,311 | 20.9% |
| 広義の 工作機械 | | | | | | | | | | |
| ロボット・自動化機器 | 3,177 | 26% | 80.8% | 29,413 | 19.2% | 2,451 | 13% | 31.7% | 30,380 | 35.7% |
| CAD/CAM・自動プログラム | 169 | -27% | -46.7% | 2,716 | -2.2% | 184 | 3% | 8.4% | 2,787 | 10.8% |
| 鍛圧・プレス・溶接 | 1,253 | -49% | -27.5% | 16,833 | -19.7% | 1,518 | 2% | -28.0% | 19,834 | 13.9% |
| ダイカスト・押出・射出 | 1,229 | 24% | 18.4% | 14,155 | 34.0% | 1,479 | -6% | 49.5% | 14,436 | 32.5% |
| 小計 | 30,095 | -10% | -8.2% | 338,540 | 13.8% | 30,312 | 24% | 22.8% | 335,747 | 22.1% |
| 工作機械以外の扱い商品 | 15,453 | -4% | -9.9% | 192,805 | 13.9% | 15,068 | -8% | -8.7% | 199,195 | 14.7% |
| 合計 | 45,548 | -8% | -8.8% | 531,346 | 13.8% | 45,380 | 11% | 10.2% | 534,942 | 19.2% |
| 従業員数 | 1,348 | | -1% | | 0.2% | | | | | |

統計2

単位百万円

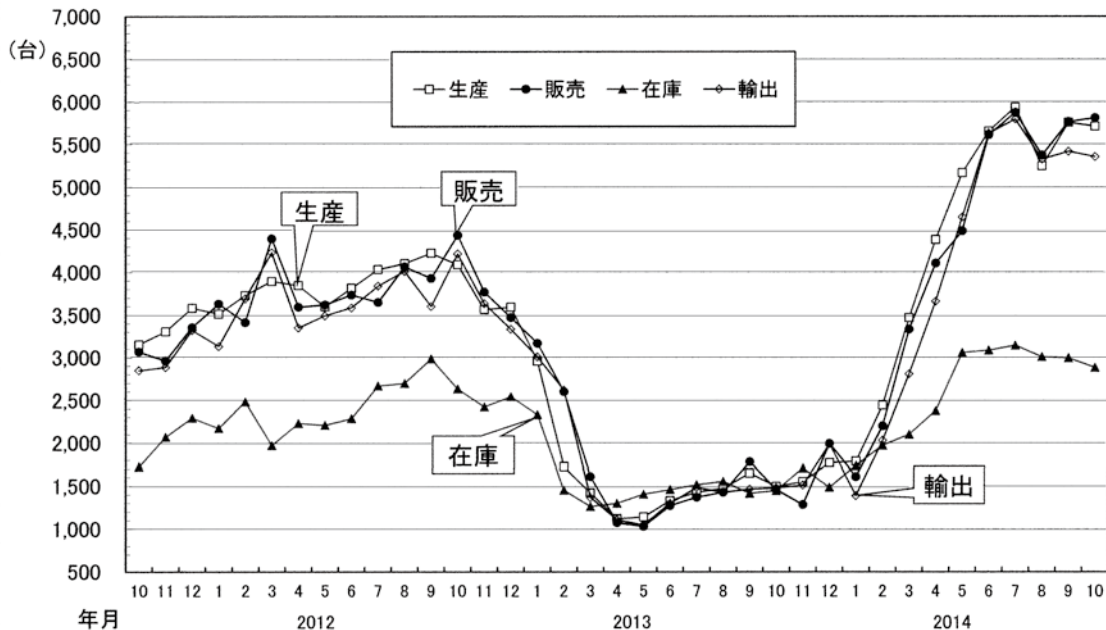
| 30社合計 調査月次 | 受 注 | | | | | 売 上 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------------|-------|--------|-------|-------|------------|-------|
| | 26/11 | 前月比 | 前年比 | 26/1-26/11 | 前年比 | 26/11 | 前月比 | 前年比 | 26/1-26/11 | 前年比 |
| 直販 | 18,289 | -15.4% | -14.9% | 210,293 | 14.9% | 18,697 | 21.7% | 16.1% | 209,911 | 23.9% |
| (内リース) | 638 | 7.2% | -3.5% | 8,849 | 19.9% | 1,370 | 66.1% | 99.6% | 11,675 | 23.8% |
| 内販 | 7,231 | -6.3% | 5.3% | 75,066 | 17.6% | 7,364 | 51.7% | 78.0% | 73,860 | 34.7% |
| 卸 | 1,776 | -38.2% | 111.4% | 17,624 | 55.5% | 1,190 | 26.5% | 9.9% | 16,019 | 8.8% |
| 輸入 | 7,240 | -2.2% | -21.3% | 96,109 | 16.7% | 8,723 | 17.2% | -3.4% | 99,881 | 13.1% |
| 輸出 | 1,757 | 27.0% | -32.1% | 17,662 | 26.9% | 1,786 | -8.9% | 58.8% | 19,010 | 12.5% |
| 従業員数 | 985 | | -0.1% | | -1.4% | | | | | |

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員72社中統計1に関しては39社、統計2に関しては30社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。

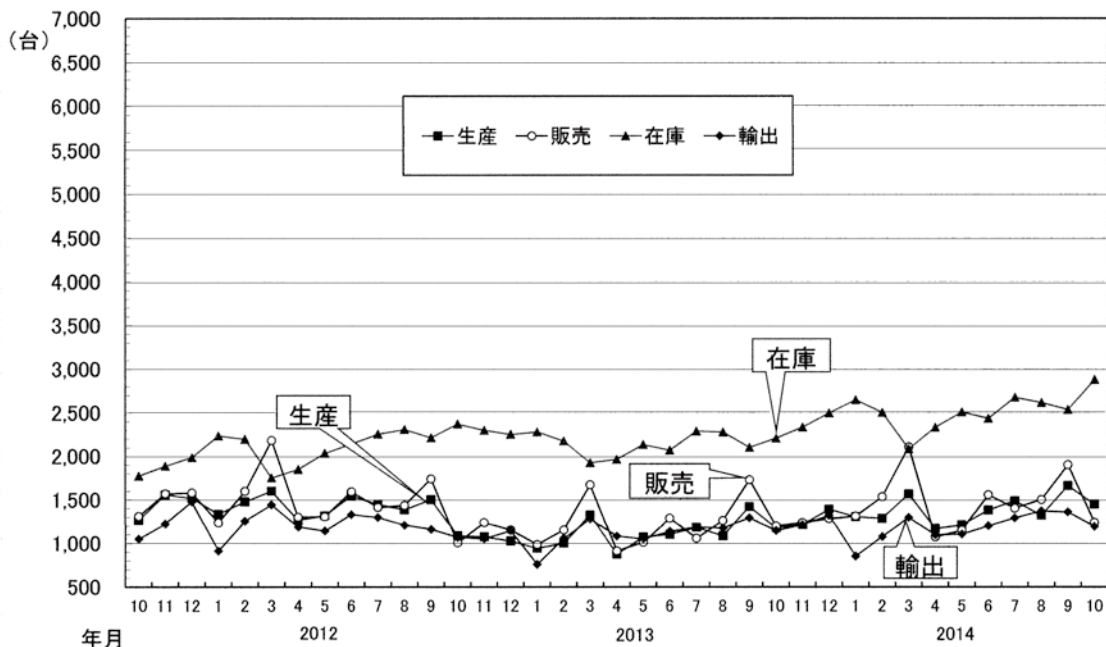


見てわかる 3年間の代表2機種のトレンド

マシニングセンタ動向



NC旋盤動向



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

ひとくち 豆知識

放電加工液について

放電加工機で使用される放電加工液は危険物として取り扱われるため

・消防法または火災予防条例
により規制を受けることがあります。

【危険物の定義】

消防法別表の品名欄に掲げる物品で、道標に定める区分に応じ、同表の性質欄に掲げる性状を有するものをいう。(消防法第2条第7項)

一般に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質など危険性のある物質を総称することが多い。消防法では、石油・アルコールなど、火災発生の危険性が大きい、火災が発生した場合に火災を拡大する危険性が大きい、火災の際の消化の困難性が高いなどの性状を有する物品を「危険物」として指定し、火災予防上の観点から、その貯蔵、取扱い、運搬方法などについてハード、ソフトの両面から規制を行っている。一定量以上の危険性を有する危険物は、一定の要件を満たす危険物施設以外の場所では貯蔵し、または取り扱うことが出来ない。

【消防法で定める危険物分類】

- 第1類 酸化性固体 : 反応する相手を酸化させる性質をもつ固体
- 第2類 可燃性固体 : 着火・引火しやすい固体
- 第3類 自然発火性物質 : 空気中で自然発火しやすい固体または液体
禁水性物質 : 水に触れると発火したり可燃性ガスを発生する固体または液体
- 第4類 引火性液体 : 引火しやすい液体
- 第5類 自己反応性物質 : 分子中に酸素を含有し、自己燃焼しやすい固体または液体
- 第6類 酸化性液体 : 反応する相手を参加させる性質をもつ液体

【第4類危険物の品目および代表的な液体】

- ・特殊引火物 [発火点が100℃以下または引火点が-20℃以下で沸点が40℃以下のもの]
二硫化炭素(発火点が最も低い: 90℃)、アセトアルデヒド(沸点が最も低い: 20℃)、ジエチルエーテル(引火点が最も低い: -45℃)

- ・第1石油類 [引火点が21℃未満のもの]
 - 非水溶性：ガソリン、ベンゼン、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトンなど
 - 水溶性：アセトン、ピリジン、など
- ・アルコール類 [炭素数が1～3個の飽和1価のもの]
 - メチルアルコール、エチルアルコール、イソプロピルアルコールなど
- ・第2石油類 [引火点21℃以上70℃未満のもの]
 - 非水溶性：灯油、軽油、クロロベンゼン、スチレン、キシレン、テレピン油、など
 - 水溶性：酢酸、アクリル酸、プロピオン酸、など
- ・第3石油類 [引火点が70℃以上200℃未満のもの]
 - 非水溶性：重油、クレオソート油、アニリン、ニトロベンゼン、など
 - 水溶性：グリセリン、エチレングリコール、など
- ・第4石油類 [引火点が200℃以上250℃未満のもの]
 - 潤滑油：ギヤー油、シリンダー油、タービン油、マシン油、モーター油など
 - 可塑剤：フタル酸ジオクチル、リン酸トリクレジル
- ・動植物油類 [動物や植物から抽出した油で、引火点が250℃未満のもの]
 - ヤシ油、オリーブ油、ヒマシ油、落花生油、ナタネ油、ごま油、綿実油など

放電加工液は、第4類 第3石油類(引火点が70℃以上200℃未満のもの)に分類されます。

【放電加工液の取扱量と規制】

※同一建物内での合算した取扱量により次のとおり消防署に手続きを行ってください。

- 取扱量 400L 以下
 - ・火災予防条例による「火を使用する設備」として届出を行う
- 取扱量 400L 以上 2,000L 未満
 - ・危険物施設として「少量危険物貯蔵取扱所」の許可申請を行う
 - ・火災予防条例による「火を使用する設備」として届出を行う
- 取扱量 2,000L 以上
 - ・危険物施設として「一般取扱所」の許可申請を行う
 - ・火災予防条例による「火を使用する設備」として届出を行う

注意)「一般取扱所」の許可申請にあたっては、「放電加工機の一般取扱所の特例」もあるため所轄の消防署に相談ください。



平成26年度 SE 講座実施報告

SE 講座は、下記3カ所で3日間の集合教育が実施されました。

東京：10月9日(木)～11日(土) 名古屋：10月16日(木)～18日(土)

大阪：10月23日(木)～25日(土)

受講者は、東京36名、名古屋41名、大阪42名、総計119名となり営業知識に磨きをかけました。

今回のSE講座を受講された方々には開始しております通信教育を履修され、日工販SE資格を取得されることを期待します。

今年度のカリキュラムは下記の通りです。

SE 講座カリキュラム

| 第1日 | 第2日 | 第3日 |
|--|--|--|
| (開講のあいさつ) ①工作機械市場とユーザー産業の動向 ②研削盤の用途と研削加工の動向 <午前の部テスト> ③図面・加工法・切削理論 ④問題解決法と提案営業 <午後の部テスト> | ①切削工具 ②品質・規格・測定 <午前の部テスト> ③生産システムと情報技術・ロボット技術 ④特殊加工(レザ・電子ビーム放電加工) <午後の部テスト> | ①販売実務・法律知識 ②生産性向上のためのCAD/CAM ③塑性加工の動向と最近のプレス機械 ④グローバル化の波に如何に対応すべきか <テスト> |

講師の方々をはじめ、ご協力をいただきました関係各位には厚くお礼申し上げます。



平成26年度 更新研修実施報告

更新研修は、2カ所で2日間の集合教育が実施されました。

東京 11月7日(金)・8日(土)、名古屋 11月14日(金)・15日(土)

受講者は、東京 18名、名古屋 47名の総計 65名。

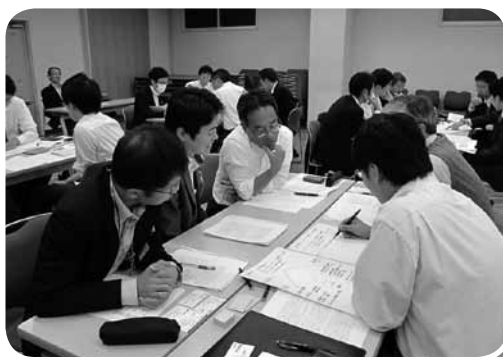
カリキュラムは下記の通りです。

更新研修カリキュラム(必修講座、特別講座)

| 第1日(必修講座) | 第2日(特別講座) |
|---|---|
| 開講挨拶・オリエンテーション ①最先端のものづくりと連携戦略 ②「これからの生産技術」への期待 ③「ものづくり経営」への一考 ④投資効果の考え方 テスト・アンケート | ①講演「商社マン、進学校校長の体験から ビジネス社会で見える事」 ②グループ作業「みんなで考えよう問題解 決策」討議・発表・質疑応答、講評 アンケート |

特別講座のグループ作業では他企業の方との意見交換・討議となり好評をいただきました。

講師の方々をはじめ、ご協力をいただきました関係各位には厚くお礼申し上げます。





日工販SE合格者 第200回発表

2014年10・11・12月の合格者38名です。

2014年10月合格者6名

| 認定No. | 会社名 | 合格者名 |
|------------|----------|-------|
| 14-23-2917 | 三栄商事(株) | 坪井 宏直 |
| 14-23-2918 | (株)東 陽 | 佐藤 隆晴 |
| 14-23-2919 | (株)ジーネット | 住徳 拓司 |
| 14-23-2920 | オークマ(株) | 渡辺 真次 |
| 14-23-2921 | オークマ(株) | 大島 忠義 |
| 14-23-2922 | 三菱電機(株) | 脇坂祐太郎 |

2014年11月合格者22名

| 認定No. | 会社名 | 合格者名 |
|------------|-------------|-------|
| 14-23-2923 | (株)豊通マシナリー | 森田 篤 |
| 14-23-2924 | 三菱商事テクノス(株) | 内村 裕司 |
| 14-23-2925 | 三菱商事テクノス(株) | 樋田 将弥 |
| 14-23-2926 | 三菱商事テクノス(株) | 滝沢 和也 |
| 14-23-2927 | 三栄商事(株) | 林 浩久 |
| 14-23-2928 | 三栄商事(株) | 三井 勇輝 |
| 14-23-2929 | (株)東 陽 | 川上 弘晃 |
| 14-23-2930 | (株)東 陽 | 岩村 嘉樹 |
| 14-23-2931 | (株)東 陽 | 鈴木 和彦 |
| 14-23-2932 | (株)山 善 | 横森 隆政 |
| 14-23-2933 | (株)山 善 | 後藤真一郎 |
| 14-23-2934 | 京華産業(株) | 杉本 喜朗 |
| 14-23-2935 | オークマ(株) | 木下洋次郎 |
| 14-23-2936 | 三菱電機(株) | 津中 貴典 |
| 14-23-2937 | J A三井リース(株) | 浜島 優 |
| 14-23-2938 | 近畿総合リース(株) | 土橋 太二 |
| 14-23-2939 | ユアサテクノ(株) | 上村 克洋 |
| 14-23-2940 | ユアサテクノ(株) | 西川 貴士 |
| 14-23-2941 | ユアサテクノ(株) | 宮坂 圭輔 |
| 14-23-2942 | (株)山 久 | 川瀬 貴正 |
| 14-23-2943 | (株)山 久 | 平山 芳樹 |
| 14-24-2944 | 合田商事(株) | 近藤 広崇 |

2014年12月合格者10名

| 認定No. | 会社名 | 合格者名 |
|------------|-------------|-------|
| 14-22-2945 | ユアサ商事(株) | 遠藤 順 |
| 14-23-2946 | 三菱商事テクノス(株) | 小林 勇介 |
| 14-23-2947 | ユアサ商事(株) | 渡辺 康裕 |
| 14-23-2948 | (株)東 陽 | 鈴木 啓介 |
| 14-24-2949 | 岡谷機販(株) | 松川 和司 |
| 14-24-2950 | (株)東 陽 | 中村 直人 |
| 14-24-2951 | (株)東 陽 | 竹中 剛規 |
| 14-24-2952 | 三菱UFJリース(株) | 渡邊 博 |
| 14-24-2953 | 三菱UFJリース(株) | 石原 理皇 |
| 14-24-2954 | 昭栄産業(株) | 佐藤 光博 |

更新研修認定者(合格者) 第124回発表

2014年度の更新認定者(合格者)65名です。

| 認定No. | 会社名 | 合格者名 | 認定No. | 会社名 | 合格者名 |
|-------------|---------------|-------|-------------|--------------------------|-------|
| 14-19R-2392 | 伊藤忠マシンテクノス(株) | 木野 正博 | 14-19R-2428 | 西川産業(株) | 大畑 勝久 |
| 14-19R-2402 | 伊藤忠マシンテクノス(株) | 松田康太郎 | 14-19R-2524 | (株)山 善 | 富永 宗志 |
| 14-19R-2414 | 伊藤忠マシンテクノス(株) | 岡山 浩一 | 14-19R-2567 | (株)山 善 | 山手 康司 |
| 14-19R-2318 | (株)兼松KGGK | 森 稔博 | 14-19R-2568 | (株)山 善 | 秋山 卓也 |
| 14-19R-2458 | (株)兼松KGGK | 小池健太郎 | 14-19R-2459 | 三菱電機(株) | 浜田 章利 |
| 14-19R-2460 | (株)兼松KGGK | 川野 大輔 | 14-19R-2525 | 三菱電機(株) | 大津 守 |
| 14-19R-2496 | (株)兼松KGGK | 木村 匡志 | 14-19R-2192 | メルダシステムエンジニアリング(株) | 田鍋 博 |
| 14-19R-2463 | 三菱商事テクノス(株) | 花岡 伸之 | 14-19R-2433 | メルダシステムエンジニアリング(株) | 外川 雄一 |
| 14-19R-2393 | ユアサ商事(株) | 荒井 正明 | 14-19R-2395 | JA三井リース(株) | 徳永 晃久 |
| 14-19R-2343 | ユアサ商事(株) | 加藤 直樹 | 14-19R-2468 | 首都圏リース(株) | 馬場 祐輔 |
| 14-19R-2406 | ユアサ商事(株) | 村田 恵介 | 14-19R-2469 | 首都圏リース(株) | 安宅 晃一 |
| 14-19R-2482 | ユアサ商事(株) | 小田切洋一 | 14-19R-2470 | 首都圏リース(株) | 大橋 俊介 |
| 14-19R-2533 | 岡谷機販(株) | 東 智生 | 14-19R-2542 | 首都圏リース(株) | 佐藤 徳彦 |
| 14-19R-2564 | 三栄商事(株) | 古澤 真 | 14-19R-2198 | 日立キャピタル(株) | 平岡 克也 |
| 14-19R-1996 | サンコー商事(株) | 永山 剛 | 14-19R-2211 | 日立キャピタル(株) | 長尾 賢弘 |
| 14-19R-2087 | サンコー商事(株) | 山形 京史 | 14-19R-2238 | 日立キャピタル(株) | 江崎 隆司 |
| 14-19R-2089 | サンコー商事(株) | 鈴木 良輔 | 14-19R-2383 | 日立キャピタル(株) | 高岡 太郎 |
| 14-19R-2167 | サンコー商事(株) | 五島 達也 | 14-19R-2517 | 日立キャピタル(株) | 南口 幸也 |
| 14-19R-2168 | (株)東 陽 | 杉本 祥彦 | 14-19R-2202 | 三井住友トラスト・バネソニックファイナンス(株) | 室伏 剛雄 |
| 14-19R-2453 | (株)東 陽 | 野村 和弘 | 14-19R-2390 | 三井住友トラスト・バネソニックファイナンス(株) | 大久保元靖 |
| 14-19R-2464 | (株)東 陽 | 足立 正治 | 14-19R-2397 | 岩谷産業(株) | 堀田 勝 |
| 14-19R-2474 | (株)東 陽 | 山崎 努 | 14-19R-2530 | 春日鋼機(株) | 田中 豊 |
| 14-19R-2476 | (株)東 陽 | 品川 理 | 14-19R-2385 | (株)東振テクニカル | 吉田 昌平 |
| 14-19R-2483 | (株)東 陽 | 大瀧 俊司 | 14-19R-2389 | ひろぎんリース(株) | 西 隆明 |
| 14-19R-2513 | (株)東 陽 | 比叡 守貴 | 14-19R-2420 | ひろぎんリース(株) | 五石 敬太 |
| 14-19R-2521 | (株)東 陽 | 黒崎 康輔 | 14-19R-2518 | ひろぎんリース(株) | 川上 裕充 |
| 14-19R-1721 | 伊吹産業(株) | 横幕 慎一 | 14-19R-2558 | ひろぎんリース(株) | 出海 晃 |
| 14-19R-1853 | 伊吹産業(株) | 富田 輝 | 14-19R-2243 | (株)森 野 | 加藤 隆章 |
| 14-19R-1858 | 伊吹産業(株) | 島田 季明 | 14-19R-2301 | (株)森 野 | 森口 繁 |
| 14-19R-1890 | 伊吹産業(株) | 和久田 孝 | 14-19R-2315 | (株)森 野 | 茂田 裕樹 |
| 14-19R-2444 | (株)ジーネット | 山本 善和 | 14-19R-2325 | (株)森 野 | 高砂 泰郎 |
| 14-19R-1965 | (株)立花エレテック | 十河 和幸 | 14-19R-2557 | (株)ユーマシン | 竹内 基揮 |
| 14-19R-2141 | (株)立花エレテック | 八木 英晃 | | | |

私の軌跡



(株)不二
第二営業部主任
寺尾 敬

「工作機械と私」に掲載頂いて、十年の月日が流れました。

21世紀に入り、取り扱う機械も様変わりしました。NC制御の革新の産物である5軸加工機、工程集約を実現した複合加工機、3Dプリンターを駆使した型加工機の登場、小型マシニングセンタ&小型旋盤のローコスト化。メーカー殿も海外に生産拠点を移行していますが、日本の開発力や作り込みレベルは世界屈指のクオリティを誇っています。

変化の主流はグローバル化です。十年前には少なかった海外出張も今や電車に乗る様な感覚で飛行機に乗ります。わが社も海外拠点が8拠点になるまでになりました。

世界中のお客様や拠点スタッフとやり取りが増えております。携帯電話やメールは釦やクリックで世界中に飛んでいきます。時差を考慮すれば24時間仕事が自分の意思に関わらず進んでいきます。もし、十年前の私が今の私を見たとしたら…。

十年前も今も変わらないことがあるはず。検証してみました。

変わらないのは機械を作り上げていく過程です。静的精度、組立工程、デバック工程、立合いに臨む準備。使用機器の進歩はありますが工程は変わりありません。

お客様からは納期の兼ね合いで、受注後の進捗を聞かれることが多く、完成された機械知識のみでは対応が満足できません。また、工事の折はその手順を聞かれることが多く、お客様に説明ができ、相談できるレベルであれば工事の成功確率は高まります。工程や手順を知ることにより、お客様からの後手のリクエストにも可否が瞬時に判断できます。困難なリクエストも人脈を使って、メーカー殿に相談できます。

商社としての役割は変わりありません。人脈と進捗把握は時代を超えた商社の武器です。

また、作り上げていく過程は各メーカー「こだわり」を持っていらっしゃる場合が多く、更なる飛躍を求めて日々「改善」に余念がありません。各メーカー殿のカラーを尊重し、仕事をスムーズに進めることは商社ならではの仕事です。

日本製品最大の強みは過程の「こだわりと改善」です。それは世界に胸を張ってアピールできる点でもあります。それを世界の人々に見てもらい、聞いてもらう事は21世紀の商社の役割なのかもしれません。独学ですが中国語を習得しました。苦手な英語にも取り組んでおります。世界中の人にこの「こだわりと改善」を理解してもらいたいです。

今後の目標はいかに自信をもって、フライトするかを探求していくことです。さらに十年後はどんな機械が我々を魅了するのか、どんな人々と出会うのか楽しみにしています。

..... 工作機械と私



(株)不二
第3営業部主任
寺尾 敬

私が工作機械商社に新卒で入社してから十余年の月日が流れました。バブル崩壊、日本経済のどん底を経験した、そう、あのバブルエイジです。私を取り巻く仕事の環境もここ十年で大きく変化しました。特に情報通信機器の急速な普及による仕事のスピードの変化は言うまでもなく時間の効率から言っても革命と言って良いでしょう。テレホンカード、ポケベル、携帯電話にノートパソコン、時代と共に便利になり情報過多のハイテク時代、判断基準や取捨選択の苦勞が多くなりました。どんどん短くなる納期。商社は柔軟な対応を迫られます。うまく乗り切らなければなりません。仕事の進め方や受注も情報に左右される時代です。常に、仕入先とはコミュニケーションをはかり、引合時から受注、立会、検収、数カ月後のトラブル等を想定した仕事を展開しなければなりません。同じパターンや同じ環境での仕事は皆無に等しく、毎度毎度のイレギュラーとの戦いです。21世紀を担う商社は引合、発注、検収のお膳立てが仕事ではなく、経験を生かして仕入先とお客様の間に入りリスクマネジメントする時代です。商社の必要知識への期待度は大きく、仕入先の各セクションの状況、お客様のコンセプト、環境の変化に迅速に把握対応する能力が常に求められています。

自動ライン化の引き合いも年々増加しています。自動ラインでの仕事の進め方は仕入先のご協力、ライン共通事項の浸透度、前後工程や周辺装置への理解、協調性が不可欠となります。商社は自分の経験を踏まえて、仕入先がスムーズに仕事を進めてくださるよう、お客様の計画や考えを仕入先に正確にアプローチする必要があります。お客様は何を求めているか？を正確に判断して仕入先に投げかけることが必要なのです。取引のある仕入先には何回も足を運ぶ必要があると思います。もともと製造の心得がない私にとって、すぐに仕入先の仕事の進め方や独自の考えを理解できるものではありません。取引のある仕入先には何回も足を運ぶことが大切です(目安として、機械を製造して頂く仕入先の作業の方の方に自分の顔や名前を覚えてもらうまで…)。足を運ぶうちに、仕入先の苦勞が理解できてきます。限られたコストと時間でお客様の考えを形にすることは並大抵なことではありません。仕入先製造現場のお客様理解度がお客様満足度につながると 생각합니다。自動ラインの仕事を進めるにあたり、「木を見ることだけではなく、森も見てください(自分の領域だけでなく、周辺機械にも配慮を)。」と仕入先にアドバイスします。「森」には予想もしていないトラブルがたくさん潜んでいます。私の理解を超える技術的事事も多いのですが、経験でこれから起こりうるトラブル予測し、仕入先やお客様に提案することは商社の大切な仕事です。商社は司令塔の役割を担っており、商社の采配がお客様の計画成功への鍵といえるのではないのでしょうか？

製造・使用する訳ではない商社は、とかく肩身の狭い風潮があります。コスト重視の世の中ですから、直接取引も増える時代です。「これから商社って稼げるの？」とよく聞かれます。商社と言っても、専門性・仕事の規模によってびんきりといえますので、総体的なことを言うのは不可能です。そうかと思えば年間通じて、何億と売り上げる商社マンはざらにいます。しかし、その方々は相当な努力をしているはずで、ですから、「俺はこの分野で日本一になるのだ」というくらいの信念を持ち、常日頃の努力と仕入先・お客様の研究さえ怠らなければ、活躍の場は無限に有ると言えるのではないのでしょうか。

行事予定

| | | |
|------------------|-------------|------------|
| 西部地区新春時局講演会 | 1月20日(火) | 大阪産業創造館 |
| 調査広報委員会 | 2月25日(水) | 機械工具会館 |
| 東部地区情報交換会 | 2月26日(木) | 機械工具会館 |
| 東部地区工場見学会 | 3月5・6日(木・金) | |
| 政策委員会・定例理事会 | 3月4日(水) | 大阪・大阪産業創造館 |
| 西部地区情報交換会 | 3月17日(火) | 大阪弥生会館 |
| 政策委員会・定例理事会 | 5月15日(金) | 名古屋・安保ホール |
| 第46回通常総会・講演会・懇親会 | 6月9日(火) | 第一ホテル東京 |
| 政策委員会・定例理事会 | 7月8日(水) | 東京・機械工具会館 |

展示会

| | | |
|---------------------------------------|------------------|----------------------|
| nano tech 2015 第14回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 | 1月28日(水)～30日(金) | 東京ビッグサイト |
| テクニカルショウヨコハマ 2015 第36回工業技術見本市 | 2月4日(水)～6日(金) | パシフィコ横浜展示ホール |
| 第19回おおた工業フェア | 2月5日(木)～7日(土) | 大田区産業プラザ(Pio) |
| INTERMOLD 2015 (第26回金型加工技術展) | 4月15日(水)～18日(土) | 東京ビッグサイト |
| レーザー EXPO 2015 | 4月22日(水)～24日(金) | パシフィコ横浜 |
| MEX 金沢2015 (第53回機械工業見本市金沢) | 5月14日(木)～16日(土) | 石川県産業展示館 |
| 微細・精密加工技術展2015 | 5月28日(木)・29日(金) | 大田区産業プラザ(Pio) |
| プレス・板金・フォーミング展 MF-Tokyo 2015 | 7月15日(水)～18日(土) | 東京ビッグサイト |
| 難加工技術展2015・表面改質展2015 | 9月8日(火)～10日(木) | パシフィコ横浜 |
| 測定計測展 Measuring Technology Expo 2015 | 9月16日(水)～18日(金) | 東京ビッグサイト |
| EMO MILANO 2015 欧州国際工作機械見本市 | 10月5日(月)～10日(土) | FIERA MILANO 国際見本市会場 |
| MECT2015 (メカトロテックジャパン2015) | 10月21日(水)～24日(土) | ポートメッセなごや |
| 2015 国際ロボット展 | 12月2日(水)～5日(土) | 東京ビッグサイト |

編集後記

- 学生時代にボランティア活動でお世話になった方が今年の秋の叙勲で旭日双光章を受章されました。
受章理由は「スポーツ振興功労」です。勝敗に執心せず楽しむレクリエーションや生涯スポーツの普及に尽力され、特に「高齢者の健康づくり」に寄与した事が評価されたようです。勲章など全く無縁と思っていましたがお世話になった方の受章は大変嬉しいです。この方を中心として当時の仲間たちとはいまだに親交があり、特に子育てが終了した頃からは年に数回は集まるようになりました。こういったつながりは生涯の財産として大事にしていきたいと思います。(稲垣)
- 一年過ぎるのは早いなあーと感じるのは、12月の師走で次年度を迎える何かと慌ただしい時期や、年度決算に向けた追い込みや、次年度予算策定作業等が重なる2月の多忙時期に感じます。
ほんの少し前にこれやったよね！と思う事も、しばしばで 年々歳を重ねる度に、時の経つのが早くなるのですが、皆さんは如何ですか？
子供の頃は一年という時間が長く感じませんでしたか？新しい発見がたくさん出会える若い時代は、時間の経過が遅く感じられ、大人になってから早く感じるのは新しい発見が少なくなったからだと思います。
『なるほど!』と妙に納得している自分が居ます。(手塚)

「日工販ニュース」 Vol.4—2015

平成27年1月15日発行

| | |
|-------|---|
| 発行 | 日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879 |
| 発行責任者 | 専務理事 宇佐美 浩 |
| 編集 | 日工販調査広報委員会 委員長 丹波 優 (伊藤忠マシンテクノス(株)) 委員 手塚正樹 (双日マシナリー(株)) 中村龍二 (株トミタ) 菊池一雄 (株ナチ常盤) 稲垣誠人 (三菱商事テクノス(株)) 港 省司 (株牧野フライス製作所) 福島 透 (日本GE(株)) |